

市町村名	大宜味村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	消防救助艇及び資機材搬送車整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
担当部署名	総務課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	水難事故等における住民や観光客等の安全の確保を図るため、救助艇・牽引車両等を整備する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計		
	A. 予算現額	4,040				4,040		
	B. 執行済額	4,040				4,040		
	うち 交付金充当額	3,232				3,232		
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%		
執行状況の説明	・執行率は100%であり、計画的に執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	消防救助艇及び資機材搬送車の整備 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台		目標	消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			実績	消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			目標					
		実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	消防救助艇及び資機材搬送車の配備 (国頭地区行政事務組合消防本部) 消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台		目標	消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			実績	消防救助艇 1台 資機材搬送車 1台	-	-	-	-
			目標					
		実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度 目標/発現年度
	水難救助訓練(1回/月)を実施することにより、消防救助艇及び資機材搬送車の活用のあり方について検証する。		目標	1回/月	-	-	-	1回/月
			実績	1.75/月	-	-	-	1.75/月
			目標					
実績								
状況説明	【R1年度】 ・月1回の水難救助訓練を通して整備した資機材による出動訓練、艇の進水及び取扱いを実施し、迅速かつ安全に救助活動が行えるよう取組んでいる。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R1年度】 ・消防救助艇・資機材搬送車を導入したことにより、水難救助現場において隊員が迅速に乗船し、救助資機材を有効活用した安全・確実な水難救助活動が展開できる。消防救助艇等の導入後は、出動及び訓練後に塩害の影響を受けた消防救助艇・資機材搬送車の点検を行い、常に災害時に備えて出動できる体制を維持しなければならない。			【R1年度】 ・消防救助艇及び資機材搬送車の維持管理体制を徹底させ、安全・迅速に出動体制を確保する必要がある。					
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R1年度】 ・消防救助艇及び資機材搬送車を活用した訓練の充実と水難救助活動の強化に取り組み、村民や国内及び国外からレジャーで訪れた人々に安心・安全を与える地域を目指す。								

市町村名	大宜味村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光道路及び危険箇所減災対策事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部課名	建設環境課	事業実施 年度	平成 27	～平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	安心安全な観光道路の確保と危険箇所の減少を図るため、村内の観光道路や危険箇所の生い茂った雑木や高木の伐採を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度(繰越)	H30年度	合計	
	A. 予算現額	23,287	14,000	16,000		53,287	
	B. 執行済額	20,911	11,890	13,230		46,031	
	うち 交付金充当額	16,728	9,512	10,584		36,824	
	執行率(%) (B/A)	89.8%	84.9%	82.7%		86.4%	
執行状況の説明	・H29年度は関係者との調整に不測の日数を要し工事が遅れ、翌年度に繰り越した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	伐採工事の実施	目標	・計画策定 ・伐採工事実施	・伐採工事実施	・伐採工事実施	-	-
		実績	・策定 ・実施	・実施	・実施	-	-
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	村内危険雑木箇所伐採工事の完了	目標	25%	50%	100%	-	-
		実績	25%	50%	100%	-	-
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度	
	伐採箇所における観光客の木による交通障害発生件数		目標	0件	0件	0件	-	0件
			実績	0件	0件	0件	-	0件
			目標					
		実績						
状況説明	【R1年度】 ・伐採箇所における交通障害発生件数は0件となり、目標を達成した。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R1年度】 ・観光客の木による交通障害発生を防止するため、維持管理が重要となる。			【R1年度】 ・整備箇所の定期点検や維持管理を検討する必要がある。					
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R1年度】 ・整備した箇所の定期点検を行い、継続して安心安全な環境を維持する。								